

北多摩西地区



2015.1.31 第103号 保護司会報

発行者 北多摩西地区保護司会
会長 森久保康男
編集 広 報



初日の出に願いを込めて

新年早々、多摩川に架かる拝島橋（昭島）から立川方面を望み、かじかむ手をこすりながらシャッターを切り続けました。

太陽は午前6時57分ごろから顔を出し始め、7時直前、真っ赤に燃える太陽を捉えることができました。

目次

各種研修について.....	1
各分区の研修活動 立川分区.....	2
各分区の研修活動 昭島分区.....	3
各分区の研修活動 国立分区.....	4
各分区の研修活動 東大和分区.....	5
各分区の研修活動 武蔵村山分区.....	6
会務報告・保護司の異動.....	7
栄誉の方々・サポートセンター.....	8



各種研修について



東京保護観察所立川支部
統括保護観察官 石井法子

当たり前のことですが、人を更生に導く保護司の仕事は多くの苦勞と困難を伴います。対象者の抱える問題性や取り巻く環境も複雑化していきますので、保護司の処遇能力向上のために行われる研修の重要性は、一層増していると言えます。

保護観察所が行う研修には、以下の5つの研修があります。「新任保護司研修」は、保護司の使命、役割、身分など保護司としての基本を学びます。保護司一期目に行われる「処遇基礎力強化研修」は、処遇を行う上で必要で具体的な実務手続や技術、保護司会活動について学びます。保護司二期目に行われる「指導力強化研修」は、処遇に必要な知識や技術の一層の修得等を図ります。以上3つの研修は、保護司の委嘱時期が同じか、ごく近くて、いわば同期の保護司同士で参加する研修ですので、悩みや疑問を打ち明けやすいという利点があります。その他、保護観察所でテーマを定めて全保護司を対象に行われる「地域別定例研修」、専門的な知識や技術を修得するために行われる「特別研修」があります。

また、保護司会による自主研修は、警察やハローワークなど関係機関による講話や施設見学、事例研究など、各地区の実情に応じて、創意工夫した研修が行われており、保護司同士の連携を図る場としても大変有意義なものになっていきます。

なお、保護観察所が行う研修では、講師による法律や制度の説明が多く、疑問に思っていることが気軽に聞けないといった面があるかもしれません。保護観察所としても、一方的な説明だけで終わらないよう、座談会やグループ討議形式も活用しながら、「疑問に思っていたことが聞けた」「本音を言えた、聞いてもらえた」「他の人も同じ悩みを持ってることが分かり安心した」と感じてもらえる研修にすることが大切だと考えています。引き続き、保護司の先生方のご意見ご要望を取り入れながら、工夫していききたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

特集

各分区の研修活動

立川分区

管外研修に参加して

10月1日、武蔵野線北府中駅東口から小寒い霧雨の中、国連アジア極東犯罪防止研修所(通称アジア研)に向かって歩き出した。

正面玄関に着くと、国連の施設というほどの建物とは感じなかった。国際会議場に案内されて着席すると、世界各国の国旗と、英語表記の国名プレートがラウンドテーブルの上に並べられており、国際会議の雰囲気伝わってきて、いささか緊張した。以前は保護観察官をしていた明石史子教官から、ガイダンス、研修内容等の説明があつた後、所内各施設、ラウンジ、寮室、図書室、食堂、和室、所長室などを順に案内された。

その後、再び国際会議場で質疑応答の最中に、南本秀夫東京保護観察所立川支部長と石井法子統括保護観察官が合流された。府中刑務所の運動会が雨天のため中止になったので、わざわざ研修に参加された由、お疲れ様でした。

アジア研(UNAFFE)は、国際

社会における正義の実現に貢献する目的で、昭和36年に設置された。世界各国からの研修参加卒業生は帰国後、法務大臣、最高裁長官、検事総長、駐日大使、裁判官、検察官などの高位高官に昇進しており、国際研修の成果を発揮している。

日本の更生保護、とりわけ保護司制度は世界でも注目されており、われわれ保護司が犯罪者の改善更生や地域の安全のために尽力している。献身的に活動する姿に感銘し、日本の保護司制度を国際矯正・刑事施設協会(ICPA)で紹介してほしいと、保護司国際研修で依頼されたそうです。

私も保護司の一員として、微力ながら世界の中の犯罪防止という高邁な理念の下、個人的には、保護司としても、自治会長としても、地域貢献に努力していきたいと強く実感した有意義な研修でした。

越後 博一

赤いリンゴに魅せられて

11月12〜13日の2日間、緑あふれる長野県善光寺へご利益と繁栄

を願ひ参拝、役員間の親睦と交流を図る管外研修を実施しました。本年も施設見学や他地区との交流会等を行わず、親睦と交流を目的に、車中や宿泊ホテルでの勉強会で有意義な研修会でした。

1日目の国宝善光寺参拝は、宝永4年(1707年)に再建された江戸時代を代表する仏教建築で、特に「お戒壇めぐり」は、ご本尊の安置される瑠璃檀下の真っ暗で何も見えない回廊を、右手で腰の高さの壁を伝って進み、中ほどに懸る「極楽の錠前」を探り当てると、秘仏のご本尊と結縁するといわれて大変縁起の良いことがあるという人気スポットに行きました。

宿泊ホテルに到着次第、大会議室で研修会を開催し、6月に本庁で開催された特別研修に出席された粕谷副会長、栗原副会長の「保護司の安定的確保」についての報告と、10月20日に開催された多摩連第7ブロック協議会で発表された、鈴木祥祐立川分区長の報告があり、全員熱心に聞き入っていました。

懇親会の後、森久保会長の部屋で二次会となったが、この席での役員同士の発言や、日頃思っていること、考えていることを自由に

発言し、保護司本来の姿が感じられる有意義な会でした。

2日目は一番にリンゴ畑に行き、あんなに赤い、大きい可憐なリンゴがたわわに実った様子は初めてで、感動的でした。

♪紅いリンゴに 唇よせて
と 口ずさみながら、リンゴ畑に別れを告げ、昼食にはマツタケご飯で信州の味を楽しみました。

北西研修部長 村野 安成



昭島分區

平成26年度管外研修

10月24日、爽やかな秋晴れの中、今年度の管外研修を実施、28人が参加しました。

研修先は警視庁で、日頃お世話になっている昭島警察署の城所少年係長（職権保護司）に同行いただきました。玄関では、篠田前昭島警察署長に出迎えていただき恐縮しました。懐かしさから、少なからず抱いていた緊張感が和らぎ、研修に臨めました。「ふれあいひろば警視庁教室」で、映像による警視庁の概要説明がありました。

次に案内された「通信指令センター」では、最先端の110番受発信システムが、ガラス窓越しに一望できました。ひっきりなしに通報があり、赤ランプが点滅するデスクの担当者が対応している場面が見え、緊迫したやりとりの様子が伝わってきました。また、傍らでは、研修中の警察官が先輩から実践で指導を受けていました。

24時間対応する中、都内23区的事件・事故は、すべて警視庁に集約され、多摩地区は立川市所在の

「多摩通信指令センター」で対応し、いつでもどこでも迅速に情報処理され、都民の安全・安心が維持されていることを実感しました。

資料室では、歴史的な事件で残された、生々しい貴重な資料を通して過去の教訓として受け止め、保護司として犯罪抑止に向けての取り組みの意義を強く感じました。

研修に先立って隣接する皇居を参観、歴史的な文化財を身近に感じ、厳かな気持ちになりました。松本楼で昼食を取り、千代田区一番町界隈を散策、充実した一日でした。

研修部 小町こよし

第5回「勉強会」保護司会と共催

11月30日、私たちの勉強会は5回目を迎えました。この会を持つきっかけは、古田保護観察所元立川支部長の「更女の皆さんも勉強してください」の一言からでした。1回目は大谷主任官に「更女の役割と子育て支援」について、2回目は立川児童相談所所長に「虐待」について、3回目は「思春期における心の成長」について保坂府中保護司会会長に、4回目は学校改革の過程を小谷野清泉中学校元校長に講演をお願いしました。

今回は初めて、更女の関係でなく、ホリプロダクション所属の細山貴嶺氏を講師に招きました。タレントのため出演料が必要になり、保護司会に共催をお願いしました。

講演テーマは「いじめ」です。細山氏は、幼児期からずっと「いじめ」の被害者でした。それこそ、毎日「でぶ、死ぬ、臭い」の中で、不登校も自殺も考えました。現在は慶応大学に進学し、法学部政治学科2年在学中で、将来、政治家を目指して頑張っています。

いじめについては、様々な関係機関で防止や予防、また事件後の関係者の心のケアについて研究されていますが、被害者の生の声は、なかなか聞く機会がありません。

2月の東更女連盟の研修で細山氏の講演を聴き、悲惨な内容にもかかわらず、落ち着いて、丁寧に卑屈にならず自分の経験を語る様子に感動しました。すぐに、私たちに必要な勉強だと判断し、講演を依頼しました。

当日の参加者は100人を超す盛況で、会場の市民ホールは一杯になりました。質疑応答では、それぞれの環境でいじめ体験をした方々が質問され、講師も熱心に答えて

いました。参加者から、もっと時間が欲しいとの感想が寄せられました。

健全な青少年育成と地域づくりに関わりたいことを願ったの開催でしたが、良い結果を残せたと思います。

北西更生保護女性会
昭島分區会長 守屋百合子



第5回勉強会（市民ホール）



警視庁前で

国立分区

研修部長

菊地トオル

国立分区では、北多摩西地区保護司会の研修に積極的に参加するほか、分区での新任保護司増加に伴い、基礎的な知識習得、経験を踏まえた実例研究、社会情勢に即した知識習得などを中心に自主研修を重ねています。具体的には、年1回の管外研修や管内研修、各部会が自主的に企画する研修を定例会後に開催しています。



2014年の研修テーマ

◆管外研修（6月）Ⅱ「生活環境調整における施設面談の重要性について」

実際に施設面談に挑んだ保護司から意見を聞き、書面上では分からなかった対象者の態度や思いを理解する機会となったなど、施設面接の重要性を認識した研修となった。

◆管内研修（9月）Ⅱ「府中刑務所見学」

保護観察を行う場合、対象者が過ごしていた環境等を理解するため研修。



◆自主研修

・6月Ⅱ「薬物依存の現状、取り組みについて」

講師に特定非営利活動法人東京ダルク八王子の施設長加藤隆氏を招き、薬物等依存症からの脱却を目指す方々の取り組みと指導の現状などを聞く（担当：地域活動部会）

・8月Ⅱ「実例研修」

先輩保護司からこれまでの体験を聞き、新任保護司からの質疑応答などで実践的ケースを学ぶ（担当：研修部会）

・10月Ⅱ「更生保護法人くにごたち安立の現状から」

講師に保護司でもある「くにごたち安立」の木村清逸施設長を招き、更生保護法人の取り組みと現状を聞く（担当：総務部会）

・11月Ⅱ「ネット社会のSNSの現状と社会的問題」

SNSの原理、社会的問題点などを実例と共に学ぶ。講師：研修部長菊地トオル（担当：広報部会）

・12月Ⅱ「児童相談所の現場から」

講師に立川児童相談所所長石塚健氏を招き、現代の児童を取り巻く社会状況とその取り組みを聞く（担当：学校との連携委員会）



東大和分区

東大和分区の研修活動

研修部長

中藤 成実

ここ2年間（昨年3回、今年2回）の東大和分区で行われた独自研修は3つあります。

一 処遇勉強会

公民館で、午後7時から1時間半の時間でいきました。次のとおりミニ講演会の研修です。

① 特別支援教育

稲城市教育委員会佐々木剛氏

② 刑の一部の執行猶予制度

主任官松尾亮氏

③ 関係機関との上手な付き合い方

（主に児童虐待）

明星大学藤井常文氏

④ 刑の一部の執行猶予制度制定の背景

立川支部長南元英夫氏

⑤ 社明運動の情報交換

二管外研修

昨年度は、松本少年刑務所を訪問し、浅間温泉宿泊でした。今年度は伊豆稲取温泉で宿泊し、ホテルの会議室で、分区の今泉昭子氏

が受講された研修会の内容「生活技能訓練SST」についての講演でした。



管外研修の様相

バスの中で予めSSTのロールプレイなどのDVDを見ていたのができました。特に、褒めることの大切さを勉強しました。人は褒められると、誰も悪い気はしないのだと思います。「やってみせ、言っただけ聞かせて、させてみて、褒めてやらねば人は動かさず」という言葉をいつも頭に置き、これからこの処遇に役立てたいという会員の声もありました。夜の懇親会では伊豆の踊子？も現われ、とても楽しいひとときとなりました。



三 他分区との合同研修

昨年度は9月に、国立分区と合同で都立薬用植物園で、大麻などについて植物園の阿部朋弘氏の講演があり、ケシ・大麻の栽培畑の見学も行われました。

今年度は、武蔵村山分区との合同研修会をもちました。武蔵村山市「きものセンター武蔵」で、郷土の歴史について元中学校長寺町

勲先生による「村山郷、江戸時代の武蔵村山と東大和」と題する講演でした。村山郷の名称の由来やその範囲について、村の人々の生活はどう成り立っていたかなどを中心とした内容でした。幕末とそれほど異なることはないという明治初めの地形図が配布されましたが、狭山丘陵南麓に1軒1軒の家が描かれていて当時の状況がよく分かりました。五日市から仕入れた炭を江戸に運んだこと、犬1匹で2分のお金がもらえたことなどのほか、「天明の打ち壊し」があり（村山大和は被害にあった方）、そのいきさつが羽村では記念碑に刻まれていることなど、さまざまな興味深いお話でした。

講演会終了後は約2時間の懇親会でした。両分会の部員が、部会ごとのテーブルに同席しましたので、有意義な情報交換ができました。また、部会別に舞台上がりや和気あいあいの雰囲気で紹介が行われました。

また本年度は、更生保護女性会と共に、社会参加活動や郷土博物館周辺の清掃活動を実施。終了後、郷土博物館に新設されたプラネタリウムの見学会を実施しました。

武蔵村山分区

武蔵村山分区では日帰り研修、管外一泊研修を含み、6回ほど研修部で企画し、研修を行っています。研修部では、なるべく同じ企画にならないよう配慮し、皆さんの興味を引くよう、楽しく研修ができるよう心がけています。

26年度の研修は、8月28日に日帰り研修を行いました。今回は新しくなった「くにたち安立」を見学し、施設や普段の様子を見ることができました。

また、10月7、8日の両日、一泊管外研修を行いました。今回は、神奈川県横須賀市にある横須賀刑務支所の視察でした。

横須賀刑務支所では、まず施設の歴史や概要等を説明していただき、その後、施設内の見学をしました。ここではアメリカ軍人で罪を犯した人も収容されているため、調理場は日本人用、外国人用2か所あることのほか、グラウンドの芝等もよく管理されていること、石鹸製品製造が作業の中心で、日本の刑務所で使用する石鹸はすべてここで作られていることなどを

聞き、それぞれ印象的でした。

普段の研修でも保護司活動に関することはもちろんのこと、そのみならず幅広く興味を持ち研修できるよう、主任官を中心にいるような方々に講師をお願いしています。

毎回多くの方々に参加いただき感謝しています。これからもより良い研修が行えるよう、他の分区と情報交換をしたり、いろいろなものを参考にしながら、研修企画を立てて行きたいと思っています。

しかし、なかなか企画を立てるのは大変なことです。ぜひ皆様の興味のあること、研修に取り上げてもらいたいことなど、ご要望等がありますので、研修部までご一報いただけたらと思います。

研修部 荒幡 善政

自主研修会スナップ

日時 12月5日(金)午後2時～4時
会場 武蔵村山市役所 401室
研修テーマ 「保護観察のあり方と方針」

講師 東京保護観察所立川支部
保護観察官 松尾 亮氏

出席者 20人



平成26年度日帰り研修会 (於 安立) 平成26年8月28日(木)



一泊管外研修会 平成26年10月7日-8日



会務報告

(平成26年10月～12月)

常務理事 粕谷 勝榮

◎理事会 (26年度)

△第4回11月18日

国立市役所第一、二会議室

○平成27年北西保護司会新年会について ほか、5議題

◎専門部会

○総務部会

4回

○地域活動部会

1回

○研修部会

2回

○広報部会

5回

※学校との連携委員会

1回

◎平成26年度管外研修

11月12日～13日 2日間

研修は特別研修出席者及び、ブ
ロック協議会発表者を講師とし
て、「保護司の適任者確保につ
いて」をテーマに行われました。

講師

鈴木 祥祐氏
栗原 和子氏
粕谷 勝榮氏



◎第Ⅱ期地域別定例研修

武蔵村山会場	10月24日
立川支部会場	10月26日
昭島会場	10月30日
補講本庁会場	12月3日
立川支部会場	12月5日
計	138人受講

「秘密の保持」

計138人受講

平成26年度 第Ⅱ期地域別定例研修出席状況

現員数(10月末現在)	三会場	補講	計	出席率	
立川	49人	35人	2人	37人	76%
昭島	37人	30人	3人	33人	89%
国立	23+2人	24人	1人	25人	100%
東大和	22人	20人	人	20人	91%
武蔵村山	24人	22人	1人	23人	96%
合計	157人	131人	7人	138人	88%

※くにたち安立2人 (出席2人)

◎第5回たちかわあすなろフェスタ開催

10月18日

保護観察所広報コーナー等催し物があり、北西地区保護司の方々、更女、BBSなど、多数の方が参加した。

◎平成26年度東京更生保護事業関係者顕彰式典が「かつしかシンフォニーヒルズ」で行われました。

北西保護司会では56人が顕彰されました。11月26日

◎第七ブロック保護司組織運営連絡協議会が立川グランドホテルで開催(当番地区)

10月20日
北西では、協議委員10人及びオブザーバー6人が参加。ほか観察所4人、東保連3人、事務局4人、総合計86人

◎多摩地区保護司連絡協議会受彰祝賀会が、立川グランドホテルで開催されました。

12月5日
(受賞者ご芳名は別梓掲載)

△△保護司の異動△△

○退任保護司(年齢上限該当4人)

平成26年12月21日付

立川分区 清原 輝男氏
立川分区 堺 純義氏
昭島分区 小松 豊氏
東大和分区 佐藤 光一氏

○再任保護司 (26人)

平成26年12月22日発令
立川分区 9人
昭島分区 3人
国立分区 3人
東大和分区 7人
武蔵村山分区 4人

○新任保護司

平成26年12月1日発令

(6人)



立川分区
岩元 喜代子氏



立川分区
小沼 直子氏



立川分区
来司 真智子氏



立川分区
藤嶋 淳子氏



国立分区
坪井 秀樹氏



国立分区
藤 真秀氏

△△荣誉の方々△△

(順不同・敬称略)

○春の授章

藍綬褒章

清原 輝雄

立川分区

○秋の叙勲

瑞宝双光章

浅井 浩

昭島分区

○法務大臣表彰

今泉 昭子

東大和分区

鈴木 喬

立川分区

比留間 正義

立川分区

○全国保護司連盟理事長表彰

榎戸 岩雄

立川分区

比留間 昭子

武蔵村山分区

山本 矩正

昭島分区

○関東地方更生保護委員会委員長表彰

荒井 哲

立川分区

荒川 進

東大和分区

池谷 勇

立川分区

小林 章子

立川分区

須藤 正勝

昭島分区

関下 晴夫

東大和分区

高木 惟子

昭島分区

中田 美津子

立川分区

俵川 美智子

昭島分区

守屋 百合子

昭島分区

山本 博康

国立分区

○関東地方保護司連盟会長表彰

内野 良一

立川分区

尾西 文郎

昭島分区

川上 佳津子

昭島分区

川口 弘一

昭島分区

川戸 由元

昭島分区

関 陽子

国立分区

中藤 成実

東大和分区

中野 勝幸

武蔵村山分区

福島 美由紀

立川分区

山口 秀子

立川分区

横手 利男

昭島分区

○東京保護観察所長表彰

清野 和祐

武蔵村山分区

久保田 英夫

武蔵村山分区

栗原 真理

立川分区

清水 正孝

昭島分区

白井 秀

立川分区

関 一博

国立分区

中野 和代

昭島分区

平井 洋孝

武蔵村山分区

堀江 馨

国立分区

益子 悦雄

立川分区

○東京都保護司会連合会会長表彰

雨倉 寿久

昭島分区

荒幡 善政

武蔵村山分区

五十嵐 芳夫

国立分区

井上 英徳

立川分区

内野 章

東大和分区

小野 富美子

東大和分区

香月 温子

昭島分区

田中 太

立川分区

鳴島 悦子

東大和分区

藤野 勝

武蔵村山分区

町田 晴美

武蔵村山分区

町田 美紀子

東大和分区

森久保 もとみ

国立分区

吉永 弘

立川分区

○東京保護観察所長感謝状(家族功労)

清原 鎮子

立川分区

村野 茂美

立川分区

北多摩西地区保護司会
更生保護サポートセンター

新年を迎えるにあたり、12月21日に企画調整保護司等21人が参加され、サポセン内外の清掃を実施しました。また、当日は「くにたち安立」で行われた「餅つき」の手伝いと、施設の理事、寮生と共に、搗きたての餅をご馳走になり、楽しいひと時を過ごしました。企画調整保護司 清原輝雄氏は12月に満年齢退任されました。尚、清原氏は、5月に藍綬褒章をご受章されました。



活用状況 (26/10~26/12)

月	駐在員数	来訪者	来訪者数	摘要
10月	28人	北多摩東小金井の ひまわり会 来所あり。	23人	
11月	30人			
12月	47人	田中比佐子氏 (武蔵村山分区保護司)	1人	

計報

浅見 岱司 殿 (立川分区)
平成27年1月14日(享年74歳)
生前のご功績を偲び、謹んで
ご冥福をお祈り申し上げます。



◆編集後記◆

会報第103号をお届けします。今回は研修について特集しました。各分区の自主研修を参考に、これからも研鑽に精励したいものです。27年度は委員の改選時に当たります。現編集委員最後の発行になりました。二年間大変ありがとうございました。原稿をお寄せ頂いた方々に感謝申し上げます。

(編集部)